

2022年3月5日

## 2年1組 道徳だより

2年1組

主題名 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする態度を育てる。

内容項目 希望と勇気、努力と強い意志

教材名 「ぼくは「のび太」でした」P104～P.107

ねらい 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする態度を育てる。

### ①教材について

本教材は、漫画「ドラえもん」などの作者として知られる藤子・F・不二雄が、子供の頃からどんな思いで漫画を書き続けたかという内容である。題名にある言葉を思いながら、漫画を読む人のために粘り強く頑張ってきた主人公の努力を理解し、自分自身の実践意欲につなげたい。

### ②授業の様子

○発問1「ドラえもん」を知っていますか。

- ・のび太、しずか、ジャイアン、スネ夫がでできます。
- ・なんでも出てくるポケットを持ってる。
- ・ねずみに耳をかじられたから耳がなくなった。

○発問2 手塚先生の漫画を1か月もかけて描き写しているとき、どんなきもちだったでしょう。

- ・たいへんだけど漫画を描くのが好きだから楽しい。
- ・先生のようにうまく描けるようになりたい。

○発問3 手塚先生から1000ページ描いても、本にするときは、300ページしか使わないことを聞いたとき、心の中でどんなことを考えたでしょう。

- ・漫画を描く仕事は大変だなあ。
- ・1000ページも描いたの300ページしか使わないのはかわいそう。

○発問4 「子どものころ、ぼくは「のび太」でした。、、、」という言葉に、藤子先生はどんな 思いを込めているのでしょうか。

- ・自分がのび太のようにうまくいかないことが多かった。
- ・好きなことは諦めずに頑張ることができた。

### ③振り返り

○発問 あきらめずに頑張ってよかったと思ったことはありますか？

- ・なわとびを練習したらできるようになった。(スイミング、ピアノ、マラソン、なども出 きました。)

### ④担任より

「ドラえもんを知っていますか」と言うと「知ってる」「知ってる」と一気に楽しい学習の雰囲気です。学習することができました。「ぼくは『のび太』でした。」という言葉は子どもたちにとって、自分と重ねて考えやすいと思いました。今まで今までに頑張ってきたことを思い出して、「自分は結構頑張ってきたんだ」と「自分っていいもんだ」と思ってもらいたいと思いました。